

総選挙、雇用・くらしを守れ、
労働者の願いが届く政治を！

政治を変えるチャンス

12月4日公示、
16日投票で総選挙、すでに事実上選挙戦が開始されている。景気悪化でも、大



企業や一部の富裕層のみに富が集中する歪んだ社会構造は自民党型政治がもたらしたものだ。民主や自公は財界・アメリカ言いなりの政治をおしすすめ、国・地方の赤字国債総額は、1220兆円を超えている。自民党型政治の破綻です。

総選挙、政治を変えるチャンス。しかし選択を誤っては取り返しがつきません。民主はダメ、自・公には戻れない。一方で、力のある者が「何かしてくれるのでは」の風潮もあります。

弱者に強く、強者には弱い

維新の会の報道が度々されています。維新の会の主な主張は、憲法「改正」、自己責任論の強調、消費税増税、社会保障改悪、原発再稼働容認、TPP参加、企業献金K、法人税引き下げと、弱者に強く、強者に弱いスタンス。結局、自民党型政治をさらに悪化させる政策です。

働く者が報われる政治を

総選挙では、国民に負担を押し付け、雇用、貧困問題を深め、富が一部の層に集中していく格差社会拡大の政治か、国民のための経済改革、雇用や社会保障など、国民が生きていくための社会システムを確立させる政治の実現かが、問われます。当選のために離合集散する輩に政

治は任せられません。

組合員のみなさん、選挙にはかならず行きましょう。CU東京は、非正規労働者や未組織労働者をないがしろにする政治からの決別と国民・労働者が報われる新たな政治を望んでいます。

CU東京は組合員の政党支持の自由を保障しています。其のうえで、どの政党が私たちの要求に応えるのか見極めていただくよう訴えます。政党選びの物差として、貧困格差解消に真剣に立ち向かっているか、若者の雇用問題の解決への政策をもっているのか、企業との腐れ縁がないか、原発ゼロの政策か、憲法九条を守るのか、国民本位の政治づくりをめざしているのか、などがあげられます。

組合員加入を増やそう

11月26日現在、CU東京の組合員は406人へ達しました。

この間の特徴は 11月3日、足立で支部が結成されました。「こうとう」

支部では、二つの職場で複数の新組合員を迎い入れました。(次頁参照)

いづれも、労働相談活動を切っ掛けに組合員拡大をすすめています。上記以外の支部でも労働相談活動をすすめており、相談してきた労働者が組合加入を検討中のところもあります。

CU東京が着実に、地域の労働者の拠りどころとしての影響を広げています。この結実が、まずは400人への到達となって現れています。

現状は解雇、雇止め、賃金未払い、セクハラ。パワハラ等に遭遇している労働者が増え続けて



います。その多くの労働者は、ほとんどが労働組合の組織されていない職場で働いているのです。

こうした労働者の悩み・不安の解決や労働者の権利を守るためにCU東京、大いに奮闘し500人のCU東京の実現をめざしましょう。

支部の動き

あだち支部結成

11月3日、14人が参加して、CU東京あだち支部結成総会がおこなわれました。運動方針、予算などが承認され、役員には執行委員長・宮下武美、副執行委員長・増子今朝男、本木進、事務局長・館幸雄などの諸氏が選出されました。討論では、「いろいろな機関に労働相談したが、CU東京に行き着いて、いま一緒に団体交渉を取り組んで貰って、労働組合の意義を知るようになった」との女性労働者の発言がありました。

CU渋谷支部

英会話教室の解雇問題、11月9日、交渉相手の社前行動を5人で取り組みました。昼休み、ハンドマイクで訴えるとビルの出入りの人や通行人がチラシを受け取りました。英会話教室の生徒さんもいたようです。会社としての反応はありませんでしたが、宣伝の効果はありました(ピラ45枚)。外国人グループが関心を持ち、相談したいとの問い合わせもありました。(区労連FAXニュースより)

地域労組こうとう

二つの職場で複数の労働者がCUに加入。

W社は、4年ほど前に会社役員の不祥事で経営が悪化、今年9月に一度会社解散の噂が出て、労働相談に来た労働者3人が社長の諒解を得て内整理に動いたところ、社長と対立している別の役員から懲戒処分の脅しを受け、経営危機のために11月から3割の賃金カットを全社員対象に行うとの話が出された。地

域の二つの労働組合関係に相談したが、対応されず地域労組こうとうに加入。

計4人の労働者が加入。賃金カットするなどと団交を申し入れたが10月31日、破産申し立てすることで全員解雇。組合は社長から労働債権確認書を獲得。11月1日に破産申し立て、11月7日破産管財人決定。労働者は破産管財人に債権届け出を完了。現在債権者会議待ち。

S社は以前、組合員が一人在職していたが退職。その後、組合活動に経験のある労働者が「雇用保険未加入」「休日出勤割増率」

「会社都合による休業日の賃金未払い」「有給休暇がとりづらい」などの問題解決のため地域労組に加入。

仲間を増やさないと要求は実現し

ないと話し合う。4人の労働者を組合に入れ11月8日、分会結成。分会結成通告と団交申し入れは行い、現在団交待ち。



都知事選について

CU東京が加盟する東京地評は、「人にやさしい東京をつくる会」から都知事選の候補者として表明している宇都宮健児氏(前日弁連会長、反貧困ネットワーク代表、脱原発法制定全国ネットワーク代表世話人)の支援要請に応え11月16日、宇都宮健児支持を決定。

東京地評は宇都宮氏の「四つの柱」 福祉再建、雇用拡大、消費税増税反対、東京から脱原発をすすめる、教育の再建、憲法のいきる東京をめざす。に賛同し宇都宮候補の支持としました。東京地評は「革新都政実現をめざす労働者連絡会」を結成。全都の労働者の運動体し、地域や駅での宣伝、決起集会をおこなっていきます。

CU東京は、情勢からも総選挙、都知事選は非正規労働者をはじめ未組織労働者の権利や生活を守るために重要な選挙と位置付けます。首都東京を都民のためにと決意した宇都宮氏に敬意を表します。CU東京は宇都宮氏の「四つの柱」に賛同し、宇都宮健児氏を支持、地域で選挙勝利の取り組みをおこなう。具体的な取り組みは、地域の団体と共同してすすめます。 2012年11月22日